

③9 NPO法人「人と動物の共生センター鳥取支部」

災害大国・日本で、飼い主とペットが一緒に避難する「同行避難」の難しさが課題となっている。人とペットの双方が安心して避難できる社会の実現に向け、NPO法人「人と動物の共生センター鳥取支部」(智頭町)はペット防災に関する取り組みを進めている。同センターによると、2011年の東日本大震災では、原発事故に伴う警戒区域から避難するため、ペットを自宅に残したまま避難するケースが相次いだ。結果として多くのペットが餓死したり、行方不明になったりした。16年の熊本地震



ペット防災の取り組み推進



愛犬、愛猫におやつを与える松本支部長(2023年7月、人と動物の共生センター鳥取支部提供)

でも、一部の避難所でペット同伴を断られ、車中泊での避難を余儀なくされる被災者が続出した。こうした経験を踏まえ、同センター鳥取支部は平時からの備えとして、避難先の選択肢を増やす▽「動物避難所」の開設▽行政によるペット同伴専用避難所設置への支援▽ペット防災の知識を伝える講師派遣▽知識を啓発するペット防災力レンダーの配布▽ペットを伴う避難訓練時の助言―などに取り組んでいる。自治体の指定避難所でのペットの取り扱いルールづくりの支援にも力を入れて

いるほか、24、25年には「とっとり防災フェスタ」に出展。ワークショップやカレンダー配布を通して啓発活動を行った。

松本温子支部長は「ペットや飼い主のためだけでは避難所のあり方を考えないといけない」と話す。

◇とっとり県民活動活性化センターでは「おしゃべりからはじまる災害支援のネットワーク」を考える交流会(2月17日午後1時半)の参加者を募集。詳細はQRコードから。

